



駆除業務での使い方

有害鳥獣捕獲、特定外来生物の防除、被害の現地確認。複数の現場を複数のスタッフで回す業務を、ひとつの地図の上で記録していきます。日付・場所・数量・処分方法・写真・従事者まで、その場で残せます。

対象バージョン 1.0.8

現場も、見回りも、捕獲も。ひとつの地図の上に。

マップセット

〇〇市 アライグマ防除 2026

案件・地区・シーズンをまとめる入れ物。
スタッフを招待して、同じ地図を見ます。

ポイント（現場）

現場 1 か所 = ポイント 1 つ



A地区 箱罠 3号

箱罠（大） / 猟具番号 B-07



東部水路 外来種対応

ミシシippアカミミガメ / 捕獲器



北畑 被害地点

農作物 / 8/2 通報

記録（見回り・捕獲・外来種駆除・被害）

1 つのポイントに、何件でも積み上がる

8/3 異常なし

8/5 捕獲あり

8/5 捕獲記録 アライグマ 1

8/9 外来種駆除 アカミミガメ 12

地図に出るのは現場のピンだけ。記録はピンをタップして、時系列で読みます。

準備して入り、現場では記録に集中する。

1

準備する

マップセットを作り、スタッフを招待。担当地区の地図をエリアダウンロードしておきます。



地図を取り込む

2

現場を登録する

農・外来種対応地点・被害地点をその場でポイントに。位置は「現在地」を押すだけ。



現場を地図に置く

3

見回る

ピンをタップして記録を追加。状態を 7 つから 1 つ選べば 1 件残ります。位置の入力は要りません。

● 異常なし

● 捕獲あり

状態を選ぶ

4

捕獲・防除を記録する

種別・数量・処分方法・従事者まで、その場で 1 件に残せます。写真も一緒に。

アライグマ 2

処分方法

従事者

報告項目まで残す

5

出力する

期間・地区・カテゴリで絞り込み、CSV / PDF に出力します。写真同梱の ZIP も選べます。



CSV

PDF

絞り込んで出す

準備だけ、電波のあるところで。スタッフの招待と地図のダウンロードを済ませておけば、現場は圏外でも記録し続けられます。

現場は、5つのカテゴリで地図に置ける。

どのカテゴリでも位置は「現在地」を押すだけ。ポイント番号（0～999）と14色の色をつけて、担当や種類を見分けられます。



● 罠

箱罠・くくり罠の設置点。1基 = 1ポイント。罠の種類や猟具番号を持ちます。

● 外来種対応地点

水路・ため池・河川敷など、防除の対象になる場所。

● 被害地点

農作物被害・建物侵入など、通報を受けた場所。

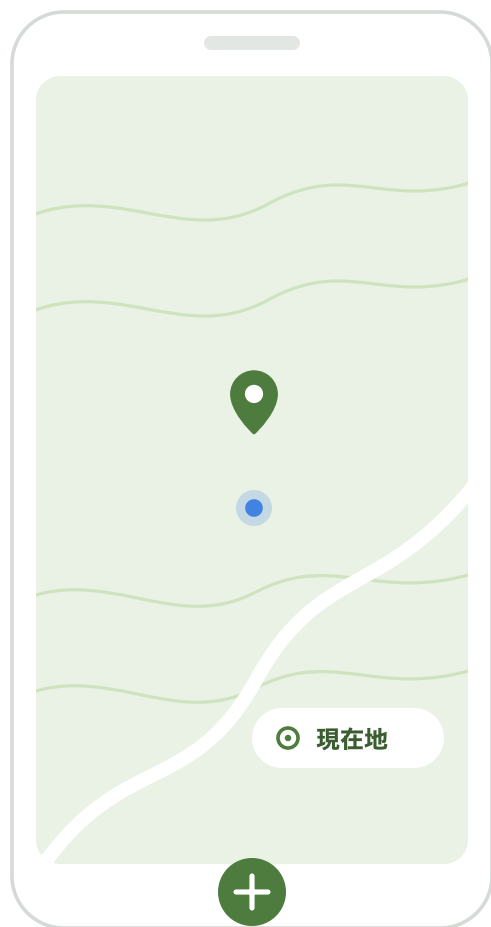
● 調査地点

事前調査・痕跡確認・カメラ設置の地点。

● 危険・注意地点

蜂の巣・崩落・立入注意など、スタッフに共有したい場所。

箱罾を設置したら、その場でポイントを作る。



1 ホーム中央の「+」→ ポイントを追加

罾のそばに立った状態で開きます。カテゴリは「罾」を選びます。

2 位置は「現在地」を押すだけ

座標を調べたり、位置情報を別に用意したりする必要はありません。地図でピンを動かせば微調整もできます。

3 罾の情報と写真を入れて保存

罾の種類（箱罾（大）／箱罾（小）ほか）・猟具番号・許可番号・設置日・設置者を、その場で。設置状況の写真もそのまま残せます。

共有していれば、保存した瞬間から全スタッフの地図に出ます。 圏外のときは端末に残り、電波が戻ったときに届きます。

ポイントは「その場所そのもの」です。見回りも捕獲も、このポイントに記録として積み上げていきます。

罟のポイントに残せること。

基本の項目はその場ですぐ入ります。標識・許可番号などは「▶ 詳細を追加」を開くと入力できます。

基本 — その場ですぐ入る

保存先 どのマップセット（案件・地区）に入れるか

設置点名 罟の呼び名（例: A地区 箱罟 3号）

カテゴリ 「罟」を選びます

位置 「現在地」を押すだけ。地図でピン指定も可

罟の種類

くくり罟 箱罟（大） 箱罟（小） 囲い罟 はこおとし 網

その他（自由入力）

機構

ねじりばね 押しばね 引きばね

くくり罟を選んだときに outputs（自由入力も可）

設置数 既定は 1（1 ポイント = 1 基）

写真 設置状況をそのまま。プランに応じて 1～10 枚

詳細 — 報告と引き継ぎに効く

**猟具番号
（標識）** 標識に対応する番号を残せます

許可・登録番号 有害鳥獣捕獲・防除の許可番号、登録番号

設置日 / 設置者 設置日の既定は入力日。設置者の既定は自分（共有ならスタッフをメンバー検索から選択可）

対象種

アライグマ ハクビシン イノシシ シカ タヌキ +自由入力

複数選べます

捕獲区分

有害鳥獣捕獲 個体数調整 外来種対策 指定管理鳥獣捕獲等事業

狩猟 その他許可捕獲

**餌の種類 /
設置メモ** 餌は例: 米ぬか。メモは「カメラ設置済み」「地権者連絡済み」など

番号 / 色

ポイント番号は 0～999。色は 14 色

見回りは、状態を 7 つから選ぶだけ。

● 異常なし

変化なし。いちばん多く押す状態です。

● 捕獲あり

かかっていたとき。続けて捕獲記録に進めます。

● 空はじき

作動していたが、捕獲はなかったとき。

● 餌なし・減り

餌が食べられていた、減っていたとき。

● 破損

罠が壊れていたとき。写真を添えると伝わります。

● 亡失

罠が無くなっていたとき。

● その他

上記以外。撤去したときも、ここ＋メモで残せます。

タップ 2 回で 1 件

ピンを押して状態を選ぶだけ。位置の入力は不要で、罠の座標を引き継ぎます。

誰が回ったかが残る

記録者の既定は自分。共有マップセットでは、スタッフをメンバー検索から選べます。日時の既定は「今」です。

詳細を開くと

餌の補充（有 / 無）・餌の種類・罠の調整・再設置（有 / 無）・周辺の痕跡。次に回る人の判断材料になります。

「捕獲あり」だけは、その先がある。保存すると、続けて捕獲記録を作る導線が出ます。

記録は、現場ごとに積み上がる。

ポイントを開けば、その罠に起きたことだけが時系列で並びます。現場が増えても、地点ごとに読み返せます。

A地区 箱罠 3号 ポイント番号 3 / 設置者 田中

箱罠 (大) 猟具番号 B-07 許可 第2026-114号 設置 7/28

対象種 アライグマ 捕獲区分 有害鳥獣捕獲



設置時の写真

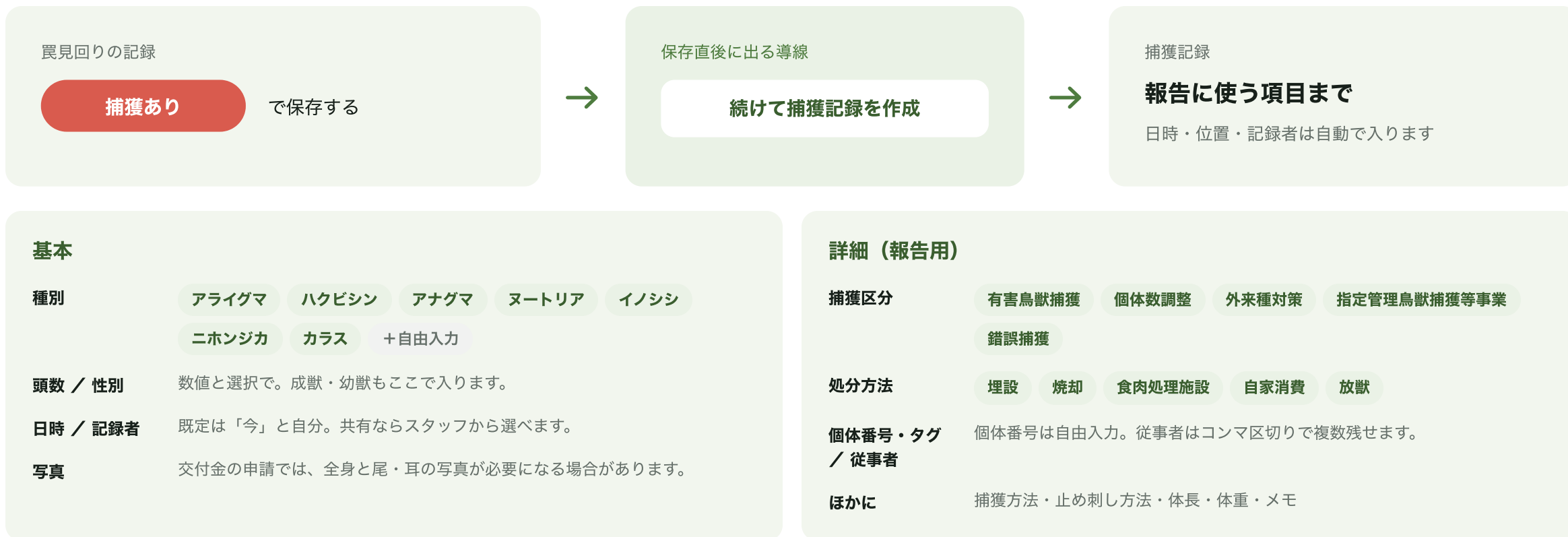
入力した内容はポイント詳細にすべて表示されます。誰が設置した、どの種類の罠かが、その場で分かります。

この罠の記録 (新しい順)

- | | | |
|------|--------|---------------------|
| 8/13 | 異常なし | 餌を補充。周辺に新しい足跡なし。 |
| 8/11 | 捕獲あり | アライグマ 1。捕獲記録に続けて作成。 |
| 8/9 | 空はじき | 扉の掛かりを調整・再設置。 |
| 8/6 | 餌なし・減り | 餌を補充。カメラに幼獣が写っていた。 |
| 8/2 | 異常なし | 変化なし。記録者 佐藤。 |
| 7/28 | 異常なし | 設置直後の確認。記録者 田中。 |

担当が替わっても、読み方は変わりません。 ピンを開けば、その現場に起きたことと、誰が対応したかが並びます。

捕獲したら、そのまま捕獲記録へ。



罨のポイントから作ると、捕獲方法にはその罨の種類が初めから入っています。／ 実施報告の様式や運用ルールは、発注元の自治体・所属団体の指示に従ってください。

外来種は、種・数量・処分方法まで 1 件に。

カテゴリ「外来種駆除」で記録します。外来種対応地点のポイントから作るか、ホーム中央の「+」→ クイック記録でその場に残せます。

対象種

アライグマ

ハクビシン

ヌートリア

ウシガエル

ミシシippアカミミガメ

オオキンケイギク

セイタカアワダチソウ

その他

→

カミツキガメ

|

自由入力

駆除方法

捕獲器

銃器

手取り

刈り取り

薬剤

その他

処分方法

埋設

焼却

可燃ごみ

その他

数量・使用機材・備考・写真も、同じ 1 件に入ります

チップにない種は「その他」に入力

カミツキガメのように選択肢にない種は、「その他」を選んで種名を自由入力します。動物・両生類・植物のいずれも同じ記録で扱えます。

残せる項目

対象種	チップ選択 + 自由入力
数量	数値（その日その場所で処理した数）
駆除方法	捕獲器 / 銃器 / 手取り / 刈り取り / 薬剤 / その他
処分方法	埋設 / 焼却 / 可燃ごみ / その他
使用機材	自由入力（例: たも網、カメトラップ）
備考 / 写真	複数行のメモと、プランに応じて 1～10 枚の写真
記録者	既定は自分。共有ならスタッフから選択できます

水路・ため池を「外来種対応地点」のポイントにしておくと、同じ場所の防除が時系列で並びます。

通報を受けた被害も、地図の上に。

カテゴリ「被害」で記録します。被害地点のポイントを作っておけば、同じ場所への再訪も時系列で並びます。



動物被害

駆除業務でいちばん使う分類



人的被害

咬傷・接触などの人身に関わる被害



自然災害

豪雨・崩落などで現場が変わったとき



人的災害

器物の破損・盗難などが起きたとき

推定原因に種名を入れておくと、後から「イノシシによる被害だけ」といった絞り込みができます。

基本

被害の分類

動物被害

人的被害

自然災害

人的災害

被害内容

自由入力（例: 水田の稲が踏み荒らされた）

推定原因

自由入力（動物なら種名。例: イノシシ）

詳細

被害種別

農作物

林業

家畜

建物

人身

被害規模

規模と金額は自由入力、件数は数値

・金額 / 件数

対策・処置

未対応

通報済み

防護柵設置

駆除依頼

「対策・処置」を更新していけば、通報 → 現地確認 → 罠の設置までの動きが、同じ地点の記録として並びます。

電波が届かなくても、記録は止まらない。

1. 圏外でそのまま記録

ポイントも記録も、圏外で作成・編集・削除まで完結します。写真も端末に保存されます。

見回り 8/9 異常なし

外来種駆除 アカミミガメ 12

端末に保存済み

2. 未送信の数が出る

まだ送れていない件数は、設定タブのバッジとマイページの「同期」で確認できます。

設定

未送信 3 件

3

3. 戻れば自動で送信

電波が戻ると自動で送信され、共有しているスタッフ全員に届きます。手動の「今すぐ同期」もあります。

自分



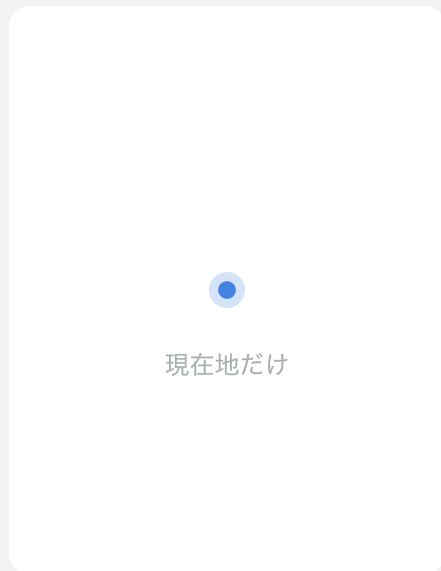
スタッフ全員へ

注意 送信が終わる前にアプリを削除すると、未送信分は失われます。 帰社後、バッジが 0 になるまではアンインストールしないでください。

出発前に、担当地区をエリアダウンロード。

圏外では、事前に取得していない範囲の地図は真っ白になります（現在地は出ます）。ここだけは、必ず電波のあるところで。

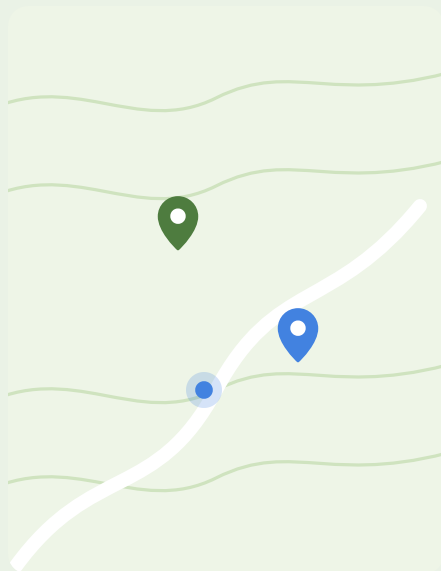
取得していない範囲



現在地だけ

地形も道も出ません

ダウンロード済みの範囲



地形も道も、現場のピンも見えます

取り込みかた

地図画面のメニュー → 「エリアダウンロード」。範囲と最大ズームを決めて開始します。通信量と時間がかかるので、**Wi-Fiのある場所で、出発前に。**

1回のダウンロード上限

無料 / ライト / スタンダード

300 タイル

プレミアム

1,500 タイル

最大ズームを 1 段上げると、同じ面積でもタイル数は約 4 倍。 入る場所だけ細かく、周辺は粗く。回数を分ければ範囲は広がられます。

一度表示した地図は自動でも保存されますが、上限を超えると古いものから消えます。担当地区は、エリアダウンロードで確実に取っておくのが安心です。

同じ地図を、全スタッフで見る。



全員が同じ地図を見る

誰かが罾を追加すれば、その位置も写真も見回り履歴も、共有しているスタッフ全員に同期されます。1 マップセットにつき 200 人まで。

権限を分けられる

閲覧だけの人・編集できる人を選べます。現場に出る人だけ編集できるようにする、といった運用ができます。

設置者・記録者・従事者が残る

設置者と記録者はメンバー検索から選べます（氏名 / ユーザーID / ローマ字氏名 / ニックネームで検索）。捕獲記録には従事者も残せます。

担当が替わっても引き継げる

共有したままにしておけば、次の担当者の手元に罾の位置・写真・見回り履歴がそのまま残ります。ファイルに書き出して渡すこともできます。

オンライン 招待コードの発行・受諾、権限の変更は電波のあるところで。同時に編集したときは、後から届いた方が残ります。

たまった記録は、絞り込んで出力できる。

スタンダードプラン以上

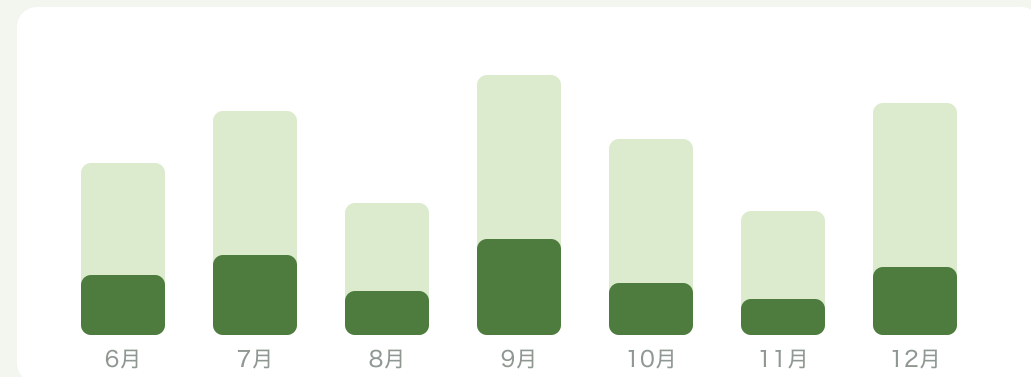
分析ダッシュボード

今期

〇〇市 北部

捕獲

外来種駆除



↓ CSV 出力

↓ PDF 出力

CSV は、記録に紐づく写真を同梱した ZIP でも出せます

絞り込んでから出力する

期間・カテゴリ・マップセットで絞り込めます。地区ごと、種ごと、担当者ごとに見え方を変えられます。

絞り込みで出せる例

今期の捕獲数

地区ごとの防除数量

誰が何回見回ったか

種ごとの捕獲実績

処分方法の内訳

出せるのは CSV と PDF のファイルです

発注元の指定様式そのものが生成されるわけではありません。出力したデータを、指定の様式へ転記してご利用ください。

写真が必要な提出には、写真を同梱した ZIP での CSV 出力が使えます。

案件・地区・シーズンで、マップセットを分ける。

1 マップセットに入るポイントと記録には上限があります。受託の単位で分けておくと、集計も引き継ぎもきれいに切り替わります。

分け方の例

〇〇市 アライグマ防除 2026

ポイント 46 / 記録 380

受託案件ごと

〇〇市 北部地区

ポイント 120 / 記録 640

地区ごと

△△農協 イノシシ捕獲 2026

ポイント 32 / 記録 210

シーズンごと

年度が替わったら新しいマップセットを作る運用にすると、前年の記録は次の設置場所を決める資料として残ります。

1 マップセットの上限（全プラン共通）

ポイント（罨・対応地点など）	500
記録（見回り・捕獲・防除など）	3,000
共有メンバー	200 人

プランで変わるもの

持てるマップセット（自分 / 共有）	1 ～ 1,000
1 件あたりの写真	1 ～ 10 枚
エリアダウンロード（1 回）	300 / 1,500 タイル
分析ダッシュボード（CSV / PDF）	スタンダード以上

写真の枚数は、共有マップセットではオーナーのプランが適用されます。会社のアカウントでマップセットを作り、そこにスタッフを招待すると、全員が同じ枚数まで写真を残せます。

消しても戻せる。誰が直したかも残る。

● 1 件がこの端末にだけ残っています

確認

最近削除した項目

削除から 30 日以内なら戻せます



A地区 3番 箱罟

ポイント ・ 削除 8/3 21:03 ・ あと30日

戻す

A地区 3番 箱罟

最終更新 佐藤 ・ 8/3 14:20

誤削除は 30 日以内なら戻せる

スタッフが誤って消しても取り返せます。受託業務の記録が失われる心配がなくなりました。

ほかに変わったこと

編集者は、担当外の現場も直せる

担当替えや退職があっても、現場に行ったスタッフがその場で直せます。

「最終更新 ○○」で作業者が分かる

誰がいつ直したかがポイント・記録の詳細に出ます。報告時の確認に使えます。

保存できなかったら赤い帯で知らせる

権限や上限で断られた場合、理由と対処が出ます。入力内容は残るので送り直せます。

現場でやることは、3 つだけ。

- 01 現場に立ったら、その場でポイントを作る。位置は「現在地」を押すだけ。
- 02 見回りは状態を 1 つ選ぶだけ。捕獲・防除は数量・処分方法・従事者まで 1 件に残せます。
- 03 帰社したら、期間や地区で絞り込んで CSV / PDF に出力する。

出発前に、スタッフの招待と担当地区のエリアダウンロードだけ済ませておく。

あとは圏外でも記録は残り、電波が戻ればスタッフ全員に届きます。日付・場所・数量・処分方法・写真・従事者が、地図の上にそろいます。